

1. 本授業科目の基本情報

講義名（コード）	TCR207B	TCR_通訳演習 IV_B	
科目名（コード）	TCR207	TCR_通訳演習 IV_B	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2年生
対象コース	CH2	単位数	4単位60
授業担当者	浅沼 渉	時間数	
成績評価教員	浅沼 渉	講義期間	秋期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄			講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が異なる母語を持つ他者と誤解なく意思疎通できるように、複雑な話題について事実や要点を明確に伝えられるようになる。
全体の内容と概要	N2の漢字と語彙を学ぶ。漢字については1年生で習ったことを復習しながら、新出漢字や語彙を増やす。就活やビジネスで使用する語彙を理解し、頻出漢字を書けるようになる。
授業時間外の学修	予習：漢字は事前に3回ずつ書いて意味を確認しておくこと。 復習：授業で学んだ漢字の読みと語彙を復習しておくこと。
履修上の注意事項等	配布したプリントは各自ファイルしておくこと。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	社会に関する漢字を使いこなすことができる	『漢字マスターN2』第10章 『新完全マスター語彙N2』第1章の復習
2	生活に関する漢字をより広く使いこなすことができる	『漢字マスターN2』第10章テスト 第11章 『新完全マスター語彙N2』第1章の復習
3	労働に関する漢字を使いこなすことができる	『漢字マスターN2』第11章テスト 第12章 『新完全マスター語彙N2』第1章の復習
4	健康に関する漢字をより広く使いこなすことができる	『漢字マスターN2』第12章テスト 第13章 『新完全マスター語彙N2』第1章の復習
5	自然に関する漢字をより広く使いこなすことができる	『漢字マスターN2』第13章テスト 第14章 『新完全マスター語彙N2』第1章の復習
6	人間関係に関する漢字をより広く使いこなすことができる	『漢字マスターN2』第14章テスト 第15章 『新完全マスター語彙N2』第1章の復習
7	復習	表現の復習（JLPTの演習を行う場合があります）
8	復習	表現の復習（JLPTの演習を行う場合があります）
9	復習	表現の復習（JLPTの演習を行う場合があります）
10	自然現象に関する漢字を使いこなすことができる	『漢字マスターN2』第15章テスト 第16章 『新完全マスター語彙N2』第1章の復習
11	社会に関する漢字をより広く使いこなすことができる	『漢字マスターN2』第16章テスト 第17章 『新完全マスター語彙N2』第1章の復習
12	地名に関する漢字を使いこなすことができる	『漢字マスターN2』第17章テスト 第18章 『新完全マスター語彙N2』第1章の復習
13		後期のまとめ
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	『新完全マスター語彙N2』 『漢字マスターN2』
参考文献・資料等	適宜配布
備考	進度は変更になることがあります。 火曜日4限